



# 平成 24 年度の寄贈資料

(受入番号/受入資料/個数/寄贈者名)

自然史系資料<化石・岩石>(32件・86点)

2012-001 /化石含有ノジュール/1/服部義幸(千歳化石会)

2012-002 /アンモナイト/1/西村智弘(当館普及員)

2012-003 /長頸竜化石/1/寺下明広(札幌市)

2012-005 /岩石標本/1/小山タエコ(むかわ町)

2012-007 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/大和治生(札幌市)

2012-008 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/大和治生

2012-009 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/大和治生

2012-010 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/西村智弘

2012-011 /アンモナイト *Solenoceras* sp. /1/大和治生

2012-013 /アンモナイト/3/高石邦彦(道有林苦小牧森林室長)

2012-014 /貝化石含有岩石/1/東信夫(むかわ町)

2012-017 /化石含有ノジュール/1/松田敏昭(札幌市)

2012-018 /アンモナイト *Tetragonites terminus* /1/大和治生

2012-019 /アンモナイト *Diplomoceras* sp. /1/大和治生

2012-020 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/大和治生

2012-021 /イノセラムス *Inoceramus ezoensis* /1/大和治生

2012-022 /アンモナイト *Canadoceras* sp. /1/大和治生

2012-023 /アンモナイト *Tanabeceras yezoense* /1/伊豆倉正隆(札幌市)

2012-024 /アンモナイト *Tanabeceras yezoense* /1/伊豆倉正隆

2012-025 /アンモナイト *Lytoceras ezoense* /1/小山内年昭(岩見沢市)

2012-026 /アンモナイト *Lytoceras ezoense* /1/小山内年昭

2012-027 /オルビトリナ石灰岩/1/小山内年昭

2012-028 /厚歯二枚貝含有オルビトリナ石灰岩/1/小山内年昭

2012-029 /アンモナイト *Neophylloceras* sp. /1/大和治生

2012-030 /アンモナイト *Anagaudryceras* sp. /1/大和治生

2012-031 /歯化石(魚?)/1/大和治生

2012-032 /アンモナイト *Pteropuzosia kawashitai* /1/岡島孝義(三笠市)

2012-034 /アンモナイト・イノセラムス/40/守山隆雄(苫小牧市)

2012-036 /サメ椎骨含有岩石/1/小山内年昭

2012-038 /脊椎動物化石/1/嶋原崇之(札幌市)

2012-039 /アンモナイト・イノセラムス/14/増田進(東京都)・佐藤たまき(東京学芸大学)・寺下明広(札幌市)・田原健太郎(東京都)

2012-040 /アンモナイト *Damesites ainuanus* /1/伊豆倉正隆

自然系資料<現生生物>(1件・7点)

2012-043 /コウイカ甲/7/森木和則(札幌市)

人文系資料<土器・石器>(2件・19点)

2012-015 /土器・石器片等/18/種田一義(むかわ町)

2012-042 /石器/1/中村敏子(むかわ町)

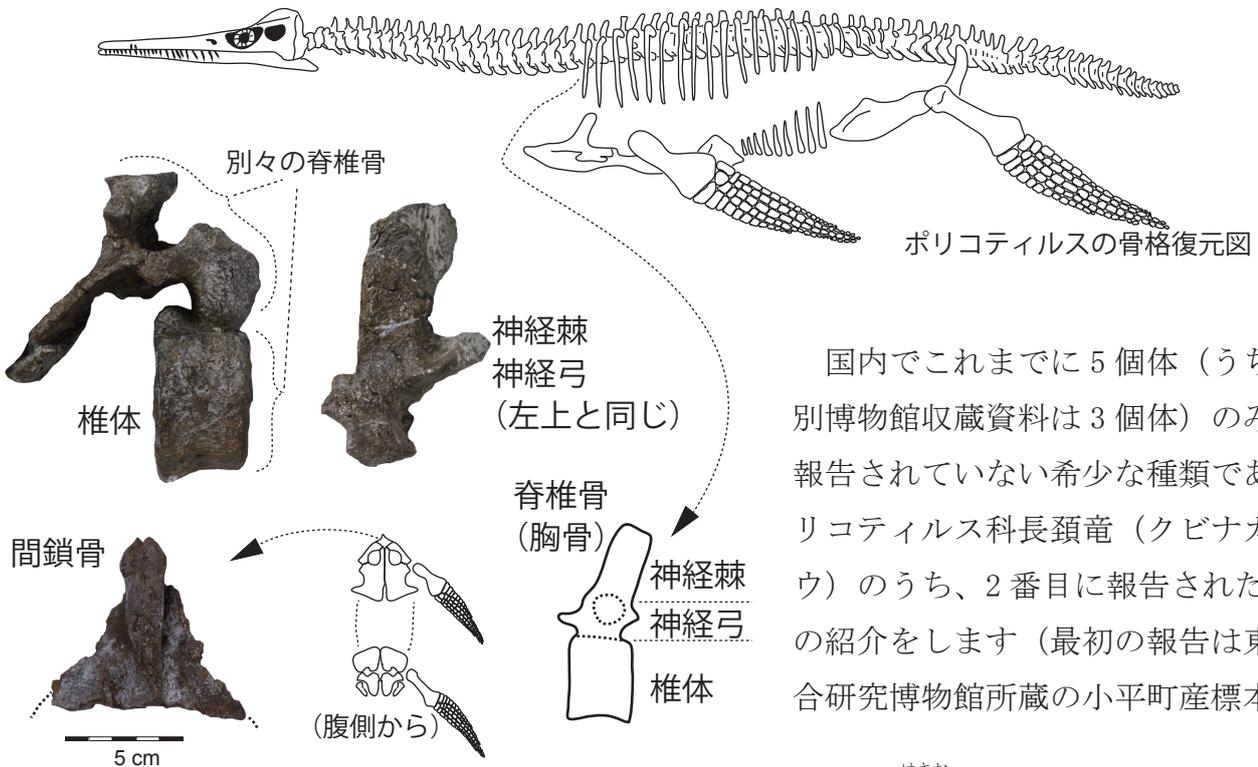
その他(1件・609点)

2012-006 /古生物関連文献/609/加藤誠(札幌市)(敬称略)

総計 36 件・721 点

多数ご寄贈頂きありがとうございました

# 首が短いクビナガリュウ；ポリコティルス類



国内でこれまでに5個体（うち、穂別博物館収蔵資料は3個体）のみしか報告されていない希少な種類であるポリコティルス科長頸竜（クビナガリュウ）のうち、2番目に報告された標本の紹介をします（最初の報告は東大総合研究博物館所蔵の小平町産標本）。

発見の経緯：1981年10月30日に穂別町（当時）在住の笠巻袈裟男氏が発見・採集。採集地の近隣にある三笠市立博物館の学芸員に報告したところ、持ち帰ってよいと返答されたため、持ち帰り、穂別町立博物館に寄贈しました。発見時から研究の報告がされるまでの長い間、この標本は魚竜のものだと考えられていました。

登録番号：HMG-1079

産出部位：脊椎骨（胸椎）、間鎖骨

産出地：三笠市桂沢

地質年代：中生代白亜紀後期セノマニアン期後期（約9,400万年前）あるいはチューロニアン期前期（約9,300万年前）

研究：2005年の越前谷宏紀氏（北海道大学理学研究科、博士課程後期学生）と箕浦名知男先生（北海道大学総合博物館、助教授）による研究\*で、脊椎骨と間鎖骨の形態からポリコティルス科長頸竜（属種は未定）であるとされました。

\*越前谷・箕浦，2005．穂別町立博物館研究報告，21号，p. 1-10.

（普及員 西村智弘）

## [アクセス]



開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

入館料 個人 / 小~高校生：100円

大人 300円

団体 / 小~高校生：50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

## 休館日

2013年6月

3(月) 10(月)

17(月) 24(月)

7月・8月は無休